

2022.03.16

InterRisk Thailand Flood Report <2021 No.08>

タイの洪水情報（2021 年の総括と現状）

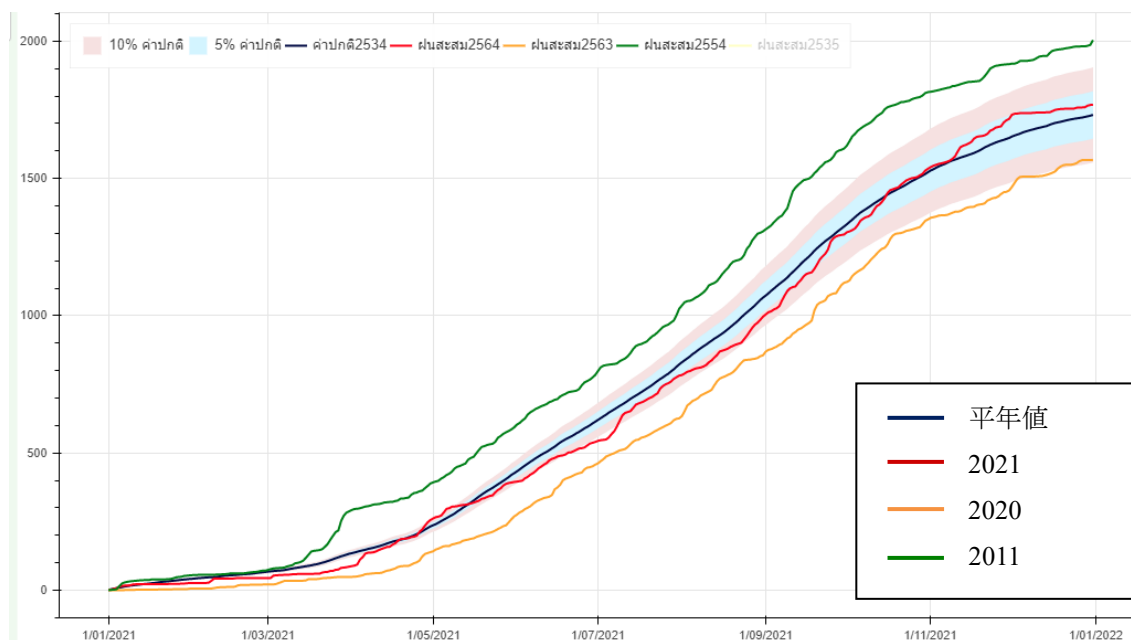
概要

- ✓ 2021 年のタイ全土における総降雨量は、平年より 2.1%多く、各地で大雨が観測されました。
- ✓ 日本企業も多く入居する Bangpoo 工業団地では、2021 年 8 月に豪雨による浸水被害が発生しました。
- ✓ 10 月には、季節風や南シナ海で発生した台風の影響によりチャオプラヤ川流域の降雨量が増加し、Pasak ダム、Kwaenoi ダムの貯水率が運用レベルの上限を超過、アユタヤやバンコクの一部でもチャオプラヤ川の溢水による被害が確認されました。
- ✓ 現在、いくつかの主要ダムの貯水量は大洪水が発生した 2011 年を上回っています。今後も引き続きダムの貯水量を注視する必要があります。

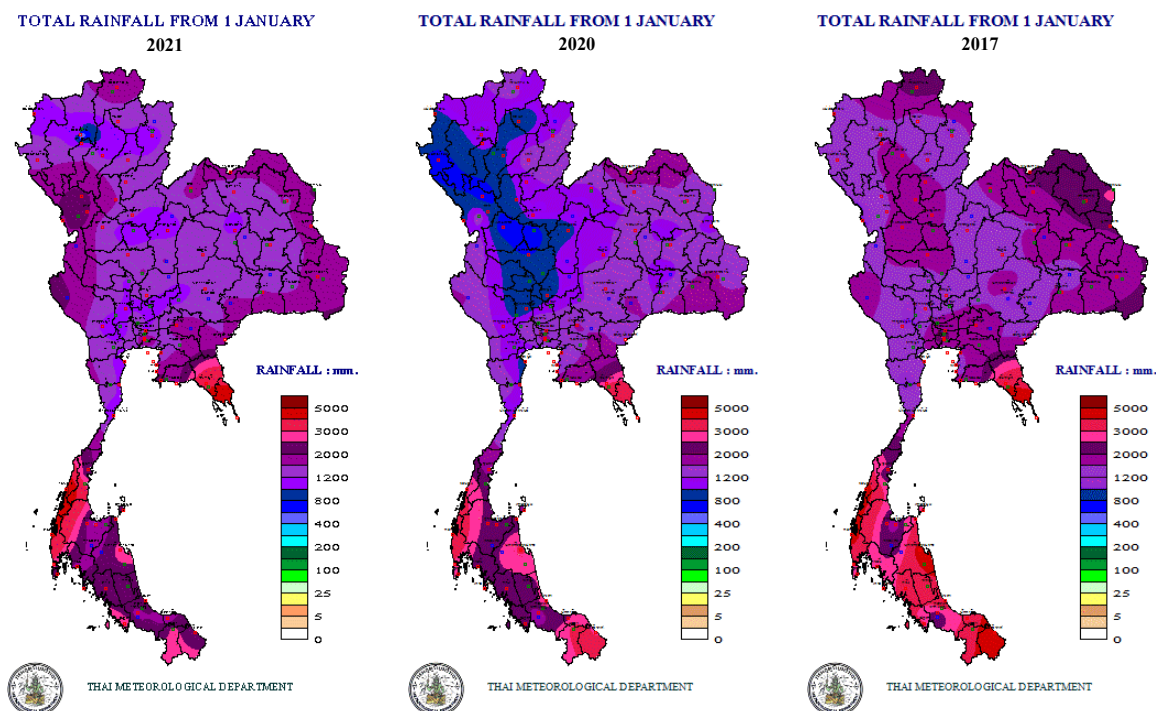
2021 年の降雨量

2021 年のタイ全土における総降雨量は 1768.5 mm です。これは平年降雨量（1731.3 mm）より 2.1%、2020 年（1567.5 mm）より 12.8%多く、大規模な洪水が発生した 2011 年（2003.6mm）を 11.7%下回っています。

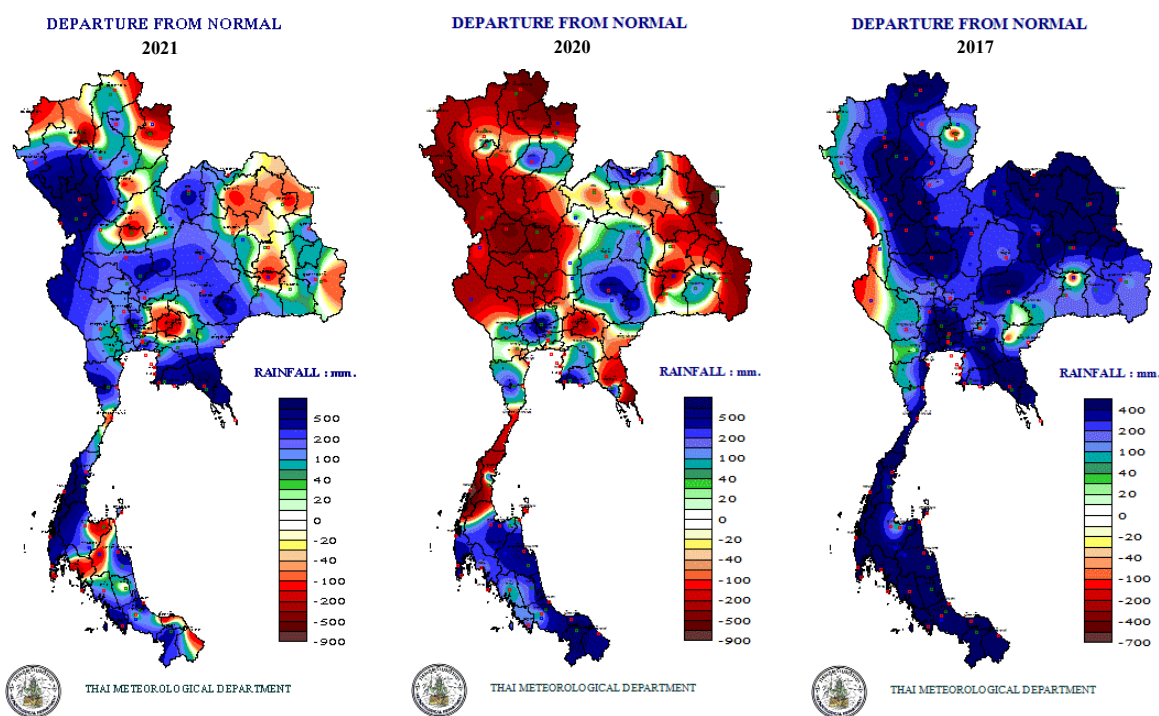
【2011 年、2020 年、2021 年の総降雨量比較 (出典：タイ気象局)】



下図はそれぞれ 2021 年（左）、2020 年（中央）、2017 年（右）の総降雨量を示しています。2021 年は 2020 年と比較して、特にタイ北部の降雨量が多く、チャオプラヤ川の水位に影響を及ぼしました。

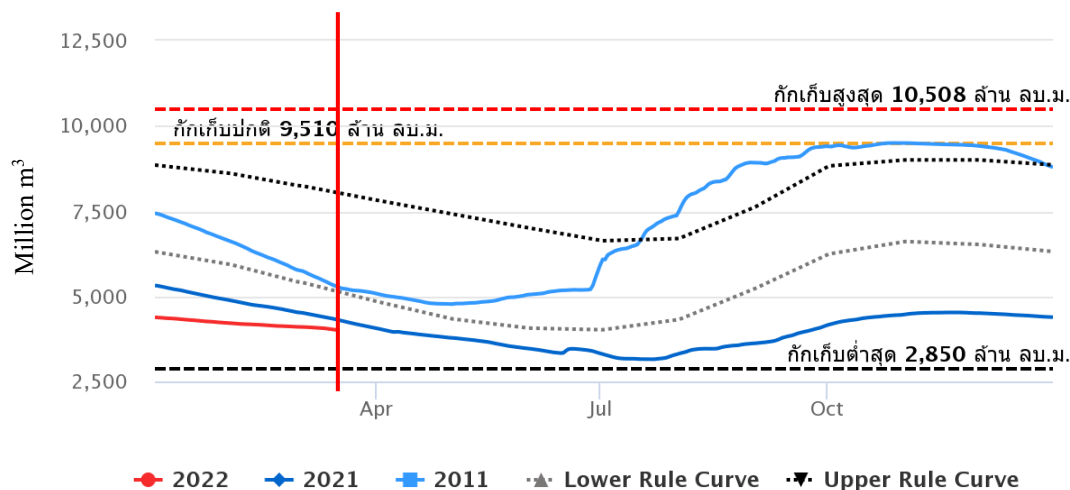


下図はそれぞれ 2021 年（左）、2020 年（中央）、2017 年（右）における総降雨量の平年との差を示しています。2021 年は、過去 5 年間（2017 年～2021 年）で最も総降雨量が多かった 2017 年と比較すると、タイ東北部、南部の降雨は少なく、当該エリアの洪水被害は 2017 年より小規模でした。

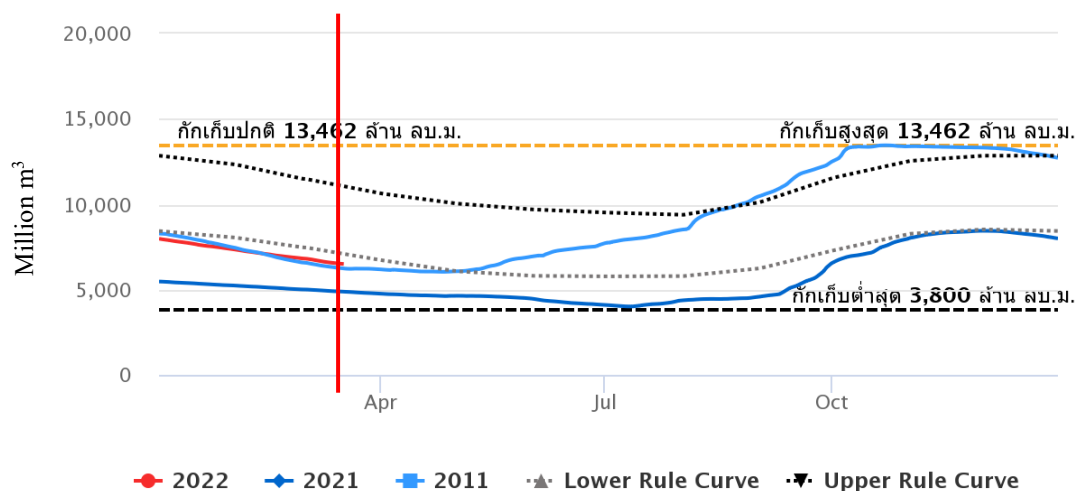


ダム貯水量（Sirikit ダム、Bhumibol ダム）

貯水量：Sirikit ダム（貯水率 42%：2022 年 3 月 16 日時点）



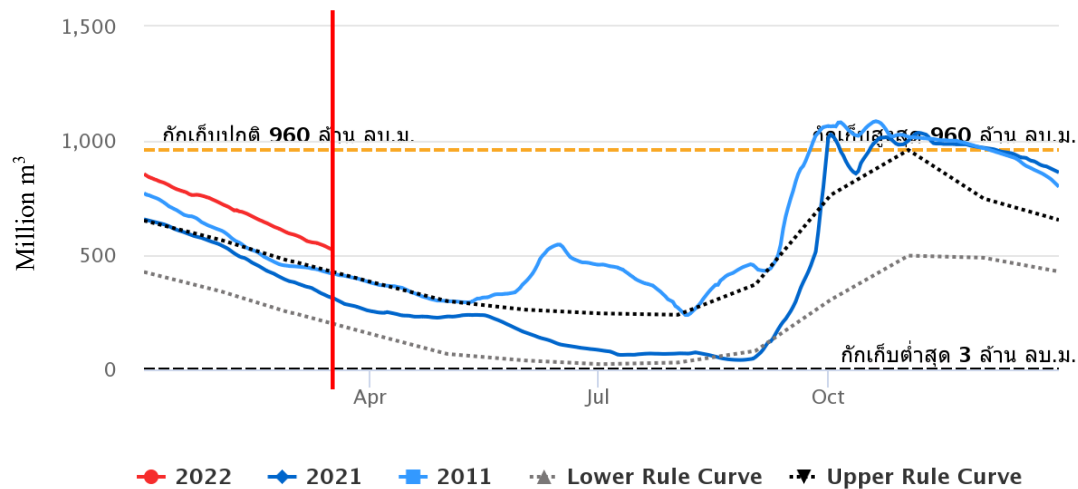
貯水量：Bhumibol ダム（貯水率 48%：2022 年 3 月 16 日時点）



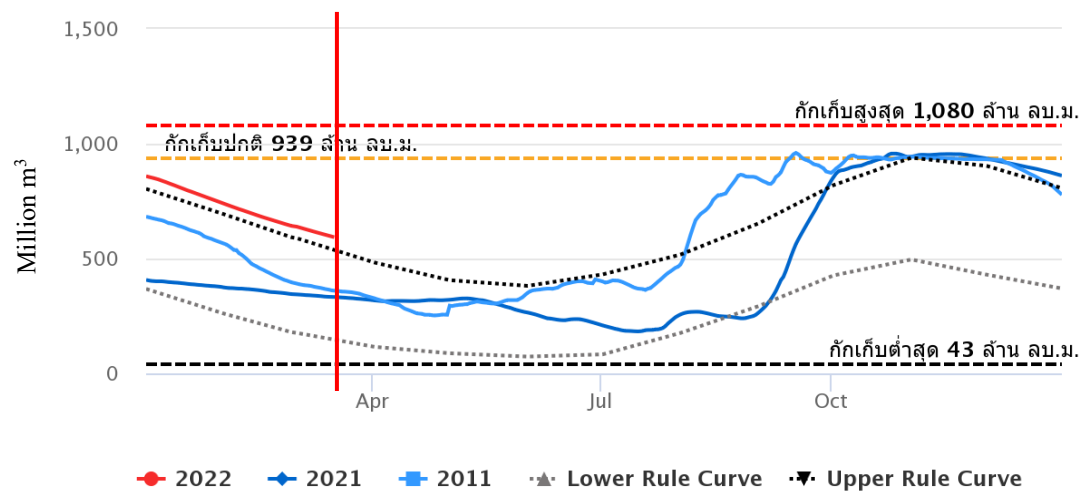
大洪水が発生した 2011 年と比較すると、Sirikit dam は 76%（2011 年：5,252mil m³、2022 年：4,000mil m³）、Bhumibol dam は 104%（2011 年：6,235mil m³、2022 年：6,497mil m³）の貯水量です。Bhumibol dam は 3 月 16 日時点で 2011 年当時の貯水量を超過しており、これは 2017 年、2018 年と同じ傾向です。2017 年、2018 年ともに大規模な洪水は発生しておらず、現時点で今年の洪水リスクを予測することはできませんが、雨季に入った後、これらのダムの貯水量の変化をモニタリングする必要があります。

ダム貯水量 (Pasak ダム、Kwaenoi ダム)

貯水量 : Pasak ダム (貯水率 55% : 2022 年 3 月 16 日時点)



貯水量 : Kwaenoi ダム (貯水率 63% : 2022 年 3 月 16 日時点)



これらのダムの貯水量は、2021 年の降雨量が多かった影響でいずれも 2011 年を上回っています。今後、雨期に入るまでの貯水量の減少と、雨期に入った後の増加についてモニタリングする必要があります。

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流：2022 年 3 月 16 日時点）

チャオプラヤ川上流域の水位は、全ての観測点で”Normal（洪水危険なし）”です。

Water Situation in the Chao Phraya River
16th March 2022



【備考】

①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（ m^3/sec ）

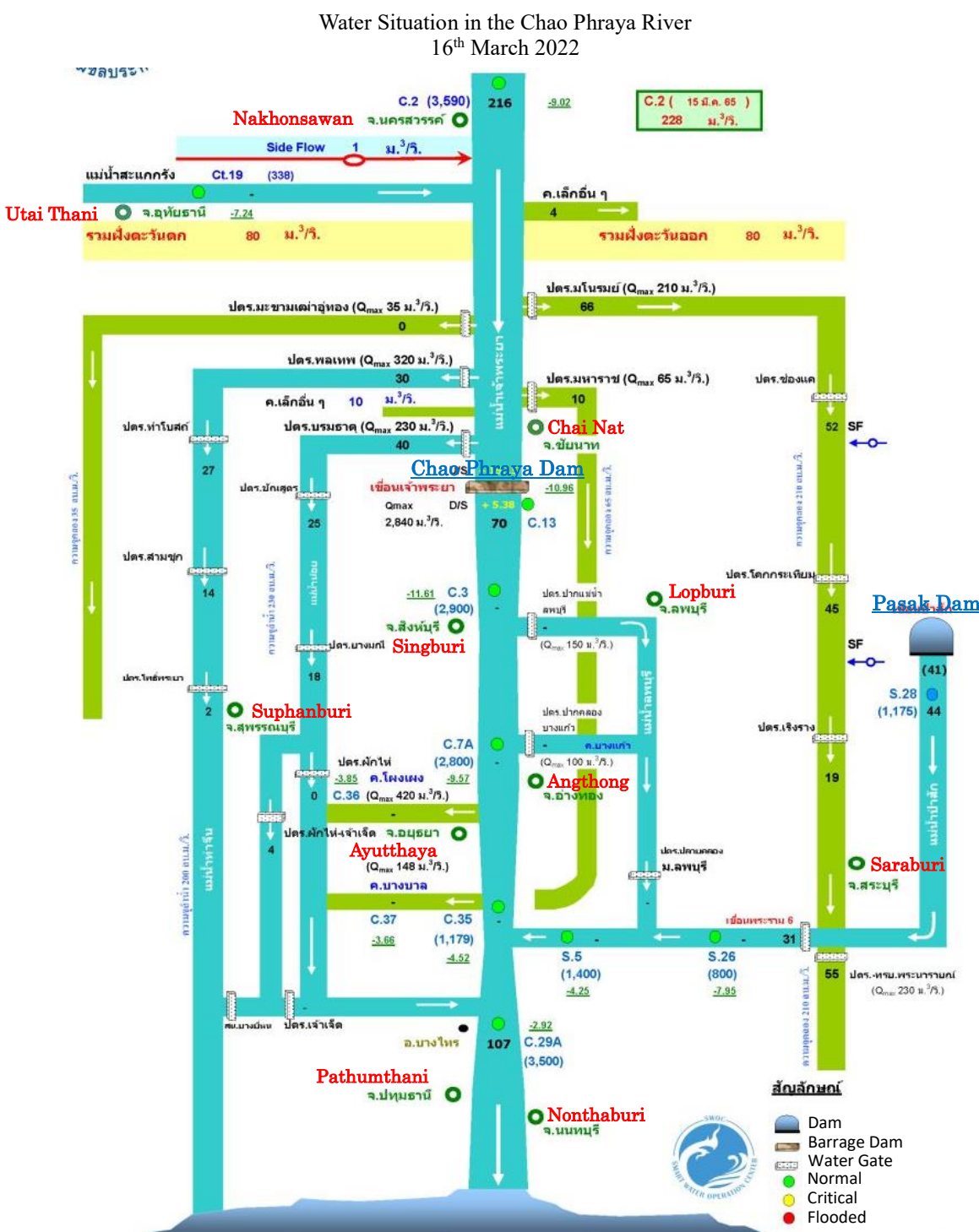
②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）

③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称

④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流：2022年3月16日時点）

チャオプラヤ川下流域の水位は、全ての観測点で”Normal（洪水危険なし）”です。



【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（ m^3/sec ）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

参照

<http://climate.tmd.go.th/gge/water/normalrain2564.html>

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>

<https://www.thaiwater.net/water/dam/large>

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=16032022

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=16032022

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2022